

氏名	西 岡 慶 子
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 2 2 号
学位授与の日付	昭和45年 3 月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学位論文題目	Catalase Activity in the Red cell Ghost of Hypocatalase-mia and Normal Subject. Part I. Catalase in the red cell ghost of Hypocatalase-mia and normal subject. Part II. Isolation of catalase in the red cell ghost. 正常者及び低カタラーゼ血液症の赤血球礎質に於けるカ タラーゼについて 第 1 編：正常者及び低カタラーゼ血液症の赤血球礎質に おけるカタラーゼの存在について 第 2 編：礎質カタラーゼの電気泳動法による分離
論文審査委員	教授 水 原 舜 爾 教授 妹尾左知丸 教授 山 崎 英 正

学 位 論 文 内 要 の 要 旨 容

赤血球礎質中にカタラーゼが存在するか否かについては、未だ確められていないが、著者は第一編に於て正常者と低カタラーゼ症の赤血球礎質を繰り返し洗滌し、その礎質よりカタラーゼ活性度を測定することを得、それは一定値を維持することを認めた。又洗滌各回の上清のカタラーゼ活性度を測定して、理論的に赤血球中には礎質に対して親和度の異なる二種のカタラーゼが存在することを推論した。第 II 編に於ては二つの電気泳動、Cyanogum electrophoresis, starch block electrophoresis を行なつて、赤血球中のカタラーゼを分離し、その結果、血液カタラーゼは原点より所定の移動度を示すのに対し、礎質カタラーゼは原点近くの分画に留まり、殆んど泳動しないことを確認し、その活性度は血液カタラーゼの約 0.1% に相当することを認めた。

論文審査の結果の要旨

本研究は、正常並びに低カタラーゼ血液症の赤血球礎質に既知の血液カタラーゼよりも物理的性質の異なるカタラーゼが少量存在することを種々の角度から証明したもので有意義な業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。